ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２０４

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第二十七回勉強会（通年内容は[年表rev.9](http://llc.a.la9.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)参照方）の準備**

**a new collective and moral consciousness based on a shared sense of destiny**

20160908 rev.1 齋藤旬

 **IR4（第四次産業革命）の和訳作業ファイルrev19を**[作業ファイル](http://llc.a.la9.jp/Papers/IR4/The%20Fourth%20Industrial%20Revolution%20by%20Klaus%20Schwab%20revX.docx)**に**アップしておいた。

The Way Forward　これからの道 96

Contextual intelligence - the mind　文脈的知性（理性） 97

Emotional intelligence - the heart　感情的知性（こころ） 98

Inspired intelligence - the soul　息吹の知性（たましい） 99

Physical intelligence - the body　身体的知性（からだ） 100

Towards a new cultural renaissance　新文化ルネサンスに向けて 100-104

今週はこれらを和訳した。

**今週のpunch lineは、104頁の結論部最後のone paragraph:**

　私達は、更にもっと先にだって行ける、と私は堅く信じている。この新たなtechnologyの時代は、もしもresponsive and responsible（齋藤補遺：相手の要求を察知する能力が高く、その要求に応える能力も高い）という様に時代の特徴が形成されれば、様々な人と人との組合せに様々な化学反応を起こす触媒として機能して、新たな文化ルネサンスを起こし、私達は私達よりももっと大きな何か – 例えば真地球文明（a true global cibilization） -- の一部であると感じることが出来る様になるはずだ。第四次産業革命は、一方で、人間をrobot化する潜在力を持ち、従来の私達の意味の源であるwork, community, family, identityといったものを危うくしかねない。他方、私達は第四次産業革命を活用することによって、humanity（人間性）を、運命共同体の感覚に基づいたa new collective and moral consciousness（齋藤補遺：[the public sphere](http://llc.a.la9.jp/Papers/Duo%20Sunt/two%20powers%20principles%20rev5.pptx)における集団として共有する新たなmoral意識）へと高めることもできる。後者が確実に起きる様に導く責務は、ひとえに、私達にかかっている。

･･･を選んだ。じっくりと味わっていただきたい。

今週は以上。来週も請うご期待。